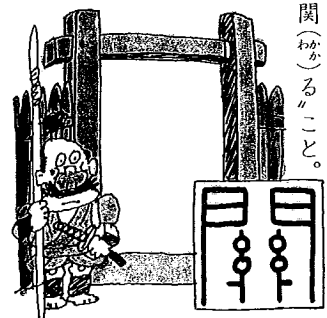


# 関

かん  
せき

〔4年〕

14画  
門 門 関 関



なりたち 旧字体は關(關)は左右の扉をそれぞれ動かぬよう止めるための「門(門)」とひもどを表したものを「門」を表した、門と鍵との会意形声字。転じて、門の出入りを止める「関所」の意味。また、「関(関)る」こと。

▼出入りを取り締まる所。  
関所：昔、道の途中に設けた通行人の出入りや荷物を取り締まる所。  
関門：①関所の門。また、関所。②通るのに難しい所。  
税関：港や空港で船や飛行機の旅客や荷物を検査し、税金などを徴収する所。  
玄関：玄(奥深い所)に入る門の意味。①家の正面の入り口。②禅寺の門、または客殿の入り口。

▼重要な時。大切な所。  
関頭：①大切な所。瀬戸際。用例生死の関頭。②非常に大切な時。  
▼かかわる。かかわり。  
関係：①二つ以上のもものがかわりを持つこと。例交友関係。②ある者(物)と何かのかかわりを持つこと。

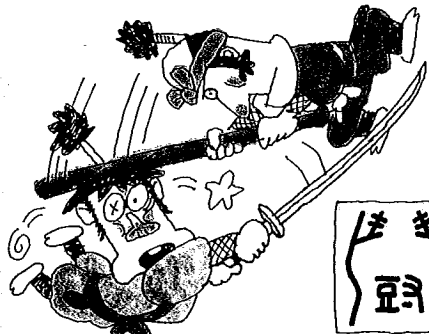
# 関

# 闘

とう  
たたかう

〔4年〕

18画  
門 鬥 闘 闘



なりたち 旧字体は闘。人が武器を取って戦う形を表した門(とうがまえ)と、発音を示す対との形声字。闘という字体もある。戦うことを表した字。

▼戦う。  
戦闘：戦い。特に武器を持つ者同士が相手を倒そうとする戦い。  
闘争：争い。戦い。例闘争本能。

闘志：戦おうとする意志・志気。例闘志満々。  
闘士：①戦士。戦う人。②主義のために戦う人。③戦闘的な人。闘志に満ちた人。  
闘病：病氣と戦うこと。強い意志を持って難病を克服しようとする努力すること。  
奮闘：①力の限り戦うこと。②精一杯努力すること。  
健闘：よく力を尽くして戦うこと。用例健闘をたたえる。  
苦闘：苦しい戦い。不利な状況で闘うこと。

# 己

おん  
おのれ

〔6年〕

3画  
一 一 己



なりたち 糸巻きから糸の先端を引き出した形を表した字で今の紀の本字。糸の初め(緒(いとぐち))ということから、「物事の初め」という意味を表した。転じて、あらゆる物事の初めである「おのれ」の意味。

▼己。自己。自分。  
自己：自分のこと。己。  
利己：己を利するという意味で、自分だけに利益があるように行動すること。  
利己主義：自分の利益だけを考えて行動する主義。自分勝手で、他人の事を考えないやり方。

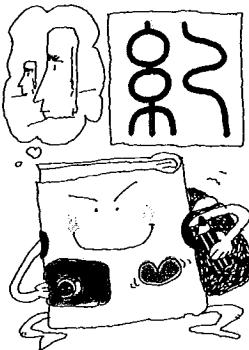
▼己。己。自分。  
己：己を知るという意味で、自分の心をよく知ってくれる親友のこと。  
克己：己に克(か)つという意味で、自分の邪悪な欲望を抑えること。私欲に打ち勝つこと。

# 紀

おん  
キ

〔4年〕

9画  
纟 纟 纟 紀



なりたち 緒(纆)の形を表し、緒の意味の己に、さらに糸を加えた会意形声字。己が専ら自己の意味に用いられたので、糸を加えて「緒」の専用字とした。糸を扱うには緒を取ることにが先決。故に「治める」、また、その基準。また、「記」の意味。

▼緒(纆)。初め。  
紀元：国の初め。「元」も初めの意味。歴史上の年数を数える基になる年。  
治める。基準。規律。

世紀：百年ごとに区切る年代の数え方。西紀元年を起点にし、一九二〇年から二〇〇〇年までは二十世紀という。  
風紀：社会の風俗習慣上の規律。特に男女間の道徳。  
校紀：学校の風紀・規律。  
綱紀：大綱となる基準。特に国家の規律。「綱」は大綱で、物事の根本の意味。  
官紀：官吏の規律。

▼記(記したものの)。  
紀行：旅行中の見聞や感想を記したもの。旅行記。  
紀要：要点を記したもの。大学の定期刊行物の名に多い。  
紀紀：古事記と日本書紀。